

「献血推進 2014」の進捗状況について

1. 経緯

少子高齢社会が進む中、血液の安定した供給体制を構築するため、平成 17 年度から 5 年間実施した「献血構造改革」の結果及び日本赤十字社が実施した血液需給将来推計シミュレーションの結果等を踏まえ、平成 26（2014）年度までの達成目標を設定し、献血推進を行ってきた。[献血推進 2014]

2. 「献血推進 2014」の平成 25 年度までの実績

項目	目標	平成 21 年度 (2009 年)	平成 22 年度 (2010 年)	平成 23 年度 (2011 年)	平成 24 年度 (2012 年)	平成 25 年度 (2013 年)
若年層の献血 者数の増加	10 代の献血 率を 6.4%ま で増加させる	6.0%	6.1%	5.8%	6.2%	6.3%
	20 代の献血 率を 8.4%ま で増加させる	7.8%	7.9%	7.5%	7.5%	7.2%
安定的な集団 献血の確保	集団献血等 に協力いただ ける企業・団 体を 50,000 社 まで増加させ る	43,193 社	45,343 社	47,137 社	49,232 社	50,712 社
複数回献血の 増加	複数回献血 者を年間 120 万人まで増加 させる	984,766 人	999,325 人	1,001,516 人	1,003,778 人	996,684 人

- (1) 若年層の献血率については、10代は、平成23年度に一時低下したが、平成24・25年度と上昇した。20代は、平成22年度に一時上昇したが、その後は、低下している。引き続き、若年層への働きかけを行っていく必要がある。
- (2) 企業献血については、平成25年度の段階で50,000社を超え、目標を達成した。まだ、新規開拓する余地はあるため、引き続き企業献血について働きかけを行っていく必要がある。
- (3) 複数回献血については、着実に数字を伸ばしてきたものの、平成25年度において減少した。血液の安定供給のためにも、引き続き複数回献血者の確保に取り組んでいく必要がある。